

ドア錠

1

丁番

2

スライド  
丁番

3

開き戸  
金具

4

引戸錠

5

引戸  
金具

6

上吊式  
引戸金具

7

移動  
間仕切  
金具

8

折戸  
金具

9

室内用  
アルミ建具

10

取手・  
引手

11

スライドレール  
ワイヤー  
バスケット

12

収納・  
吊戸金具

13

その他の  
家具金物

14

物干金具・  
諸金具

15

真鍮  
アティーケ

16

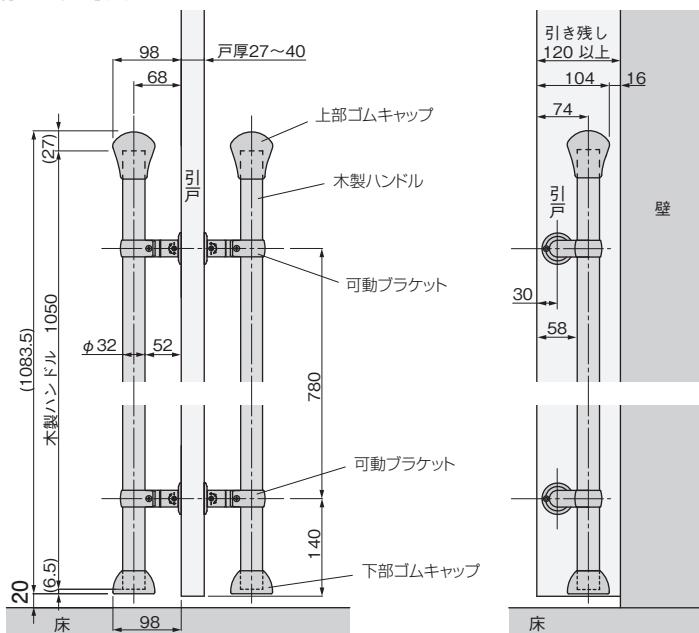
設計  
施工  
ガイド

## 使用条件

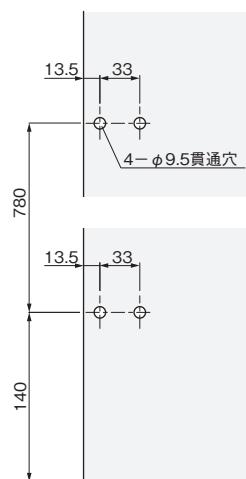
屋内用木製引戸(浴室には使用できません) ◇対応戸厚:27~40mm  
◇引戸の引き残し量:120mm以上

## 設計ガイド

## ■金具の納まり参考図



## ■戸の加工寸法図



## ご注意

掘込加工部には、必ず芯材を入れてください。  
芯材がないと、異常な動作・故障や事故発生の原因になります。

## 施工ガイド

## ■金具の取付け方法

## 1.可動プラケットの取付け

上部・下部用に下記を繰り返します。

- ①可動プラケット(オン)のアームを下図のように約100°回転させます。

約100°回転



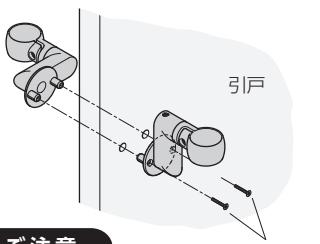
## ご注意

可動プラケットのアームを約100°回転させると、アームが止まります。それ以上可動させようとすると、破損の原因となります。

- ②下図のように可動プラケットで戸をはさみ、添付ねじで固定します。

\*戸厚により使用する本体固定ねじの長さが違います。

戸厚	使用ねじ
27~29mm	+皿タッピンねじ 4×27
30~34mm	+皿タッピンねじ 4×32
35~40mm	+皿タッピンねじ 4×37



## ご注意

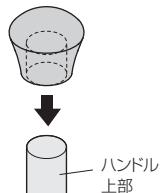
\*添付ねじで固定後、可動プラケット(オン)のアームの向きを変えないでください。

\*本体固定ねじを電動ドライバーで締めると、破損するおそれがありますので、必ず手回しドライバーで締めてください。

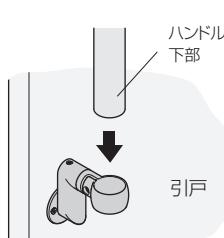
## 2.ハンドルの取付け

戸の室内側・室外側用に下記を繰り返します。

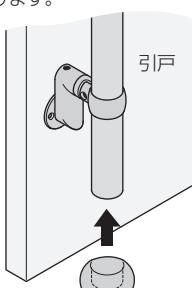
- ①ハンドルに上部ゴムキャップをしっかりとめこみます。



- ②ハンドルを上下の可動プラケットに差込みます。

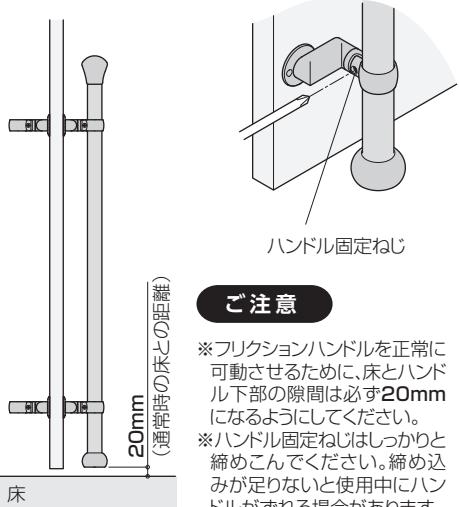


- ③ハンドルに下部ゴムキャップをしっかりとめこみます。



- ④ハンドルを操作して、可動プラケットのアームを水平に戻します。

- ⑤下部ゴムキャップと床との隙間が必ず20mmになる位置で、上下の可動プラケットのハンドル固定ねじを締めこみ、ハンドルを固定します。



## ご注意

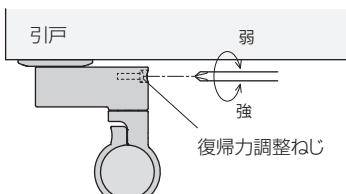
\*フリクションハンドルを正常に可動させるために、床とハンドル下部の隙間は必ず20mmになるようにしてください。

\*ハンドル固定ねじはしっかりと締めこんでください。締め込みが足りないと使用中にハンドルがずれる場合があります。

## ■アームの復帰力調整

可動プラケットの復帰力調整ねじをまわすと、アームの復帰力を調整できます。

\*製品出荷時は最弱設定です。



## ご注意

調整は、上下ともに行ってください。